

Recherche 00019 コクーンスカート仕様書

布帛用

パターンパーツ数 4

後あき(コンシールファスナー)有り

～付属品～

コンシールファスナー

ウエストゴム

インサイドベルト

ホック

サイズ	80	90	100	110	120	130	
総丈	22.5	24	26	28	31	34	
ウエスト	43	45	48	50	52	55	
裾囲	56	59	62	64.5	66.5	68.5	
ファスナー	9	9	10	10	11	11	
用尺	90巾	48	52	56	60	64	68
	110巾	40	42	44	46	48	50

オリジナルパターン・仕様書の著作権・販売権は Recherche が所有しています。  
いかなる理由であっても、オリジナルパターン・仕様書の無断転用・複写・流用及び転  
売はご遠慮ください。

**■ 用語**

CF(センターフロント).....前中心

CB(センターバック).....後中心

SL(ショルダーライン).....肩線

AH(アームホール).....袖ぐり

SNP(ショルダーネックポイント).....肩線の衿側

空ロック.....布端処理等に用いる、縫い合わせをしないロック

コバステッチ.....1~2 mmの端ミシン

**■ 裁断前に必ず地直しを行ってください。****■ はりのある生地を使用するとコクーンシルエットが際立ちます。****■ コンシールファスナーは後あき寸より3 cm以上長いものを用意してください。****■ わかりやすくする為、画像のサンプルは寸法や糸の色を変えてあります。全体のバランス等、実際のものとは異なりますのでご注意ください。**

パターンにはステッチの巾等の指示が書いてありますので、本仕様書と共に確認しながら作業を進めてください。

## ----- 作り方 -----

**裁断**

地の目線を確認し、生地の方に注意しながら裁断します。

**ノッチ(合印)を入れます**

※ノッチとは、縫い代に0.3 cmほどの切り込みを入れることです。

※ノッチを深く入れすぎるとほつれやすくなりますので注意します。

※各所縫い合わせの時はこのノッチどうしを合わせます。

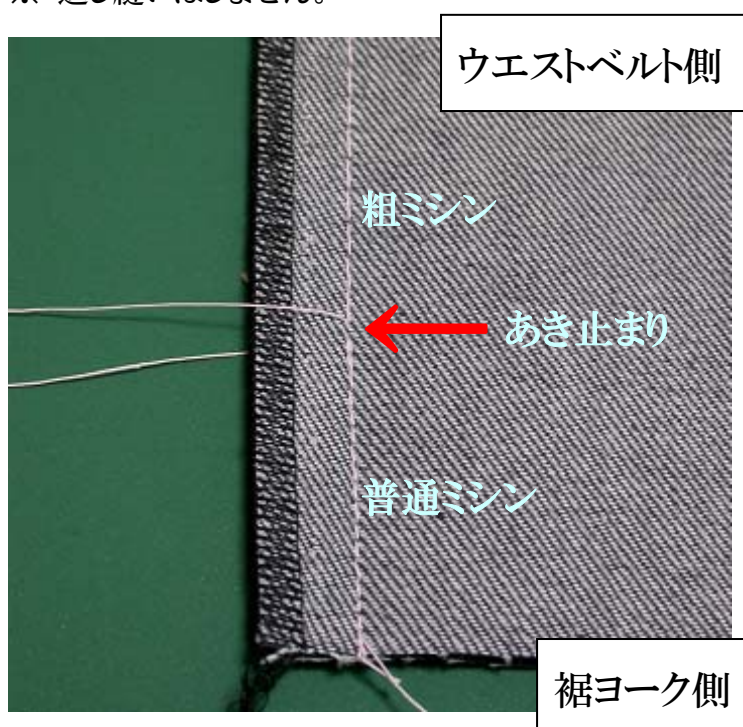
**空ロックをかけます****3 mm切り落としながら5 mm巾の空ロックを「前・後スカートの脇」「CB」「ウエストベルトの内側になる方」にかけます。**

ファスナー付け ※あき止りより3 cm以上長いファスナーを用意します  
 左右の後スカートを中表に合わせ「あき止り～裾」を縫い合わせます。  
 ※ 縫い始めと縫い終わりには返し縫いをします。

縫い目の長さを大きくし、「あき止まり～ウエストベルト方向」に粗ミシン(ミシンじつけ)をかけます。

※ 縫い始めと縫い終わりは糸を長めに出しておきます。

※ 返し縫いはしません。



アイロンで縫い代を割ります。



縫い代の下にクリアフォルダ等を敷き入れ、ファスナーを縫い代のみにしつけします。

※ しつけはあき止まりの5 cm上までします。

※ しつけの代わりにくもの巣テープを使うと簡単です。

両側にしつけをし、「あき止まり～襟ぐり」にかけた粗ミシンをほどこき、スライダーをあき止りより下まで下げます。

あき止り位置にチャコペン等で印を付けます。  
押さえをコンシールファスナー押さえにします。  
縫い目の長さを元に戻します。



務歯(ムシ:かみ合う部分)を押さえの溝にはめ込み縫います。

※上止め具の位置から縫い始めます。  
※縫い始めは返し縫いをし、務歯を起こしながらできるだけ務歯の際を縫います。



しつけの終わり位置(あき止りより 5 cm 上)まで縫い、針を下げたまま縫い線のバランスを見ます。

しつけ終わり位置～あき止り位置まで縫い進める間に 1.5～2.0 mmほど布端へそれるようにします。

あき止りよりさらに 1～2 針縫い進め、返し縫いをして糸を切ります。



※反対側から見たところ

もう片方も同様に縫います。

縫い終わったらスライダをあき止りより上に引き上げます。





「上留め具の高さ～あき止りより 2 cm 下」  
までファスナーの端をそれぞれの後ス  
カート縫い代に縫い付けます。

※ あき止り側は返し縫いをします。

ペンチ等を使い、フリー下止め具をあき  
止りの 5 mm 上に固定し、不要なファスナ  
一部分をカットします。

### タックを仮縫いします



タックの両端の線の中表に重ね、出来  
上がり線より縫い代側で仮留めします。

※表から見た時にタックは脇側へ倒れ  
ます。(センターから脇へ)



※後スカートのウエストベルト側、裾側  
を仮留めしたところ

前スカートも同様に仮留めします。

### スカート脇縫い



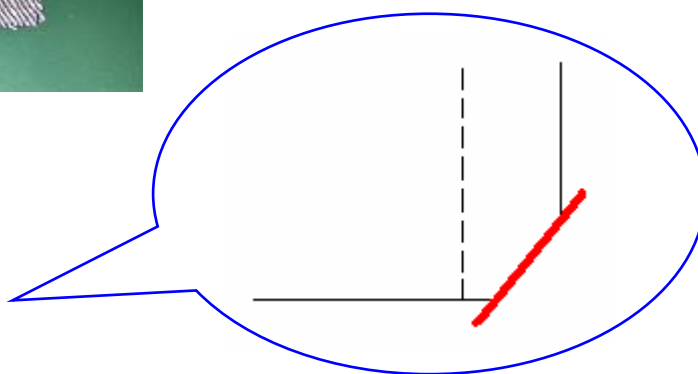
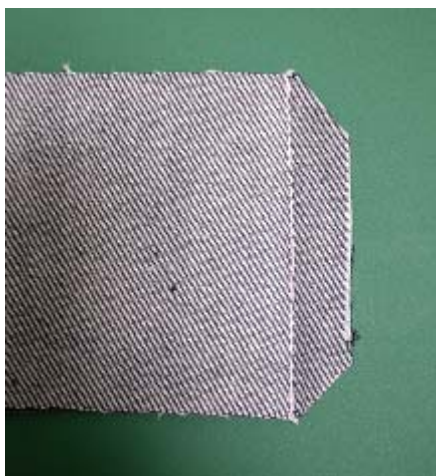
「前スカート」と「後スカート」を中表に重ね、左右の脇を縫い合わせます。

縫い代をアイロンで割ります。

### 裾ヨーク



「裾ヨークのCB」を中表に重ね、出来上がり線を直線ミシンで縫い合わせます。



縫い代を斜めに切り落とします。  
(縫い目より少し外側でカットします。※上図参照)



縫い代をアイロンで割ります。

「裾ヨーク」の内側になる方に3mm切り落としながら5mm巾の空ロックをかけます。



「スカート」と「裾ヨーク」を中表に重ね、CBを合わせます。

出来上がり線を直線ミシンで縫い合わせます。



※表から見たところ





裾ヨークを中央線で折り、アイロンをかけます。  
「スカートの裾ヨーク付け線の際」に落としミシンをかけます。

※裾ヨークを縫わないよう注意します。

※衿の内側のロックを縫い外さないよう、確認しながら縫い進めます。

### ウエストベルト



「スカート」と「ウエストベルト」を中表に重ねます。

※ 左後スカートの縫い代は出来上がり線で折っておきます。

※ 右後スカートの縫い代は開いておきます。

ノッチを合わせながら、スカートとウエストベルトを縫い合わせます。

※ ウエストベルトの持ち出しの部分は縫いません。



ウエストベルトを上げたところ







「**パターンの指示の箇所**」にインサイドベルトをアイロンで接着します。

※縫い代部分には貼りません。



「**パターンの指示の箇所**」にウエストゴムを縫い付けます。

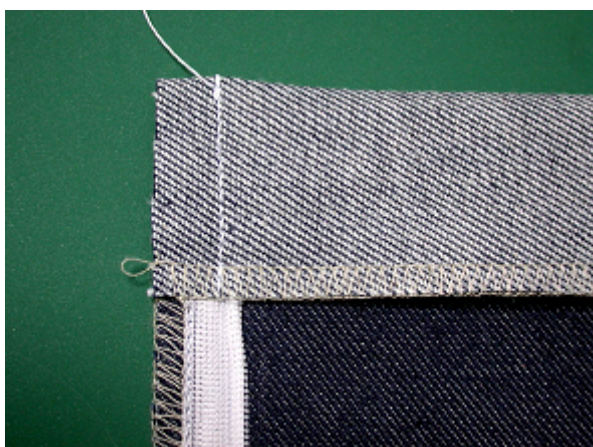


「ウエストベルトの持ち出し部分(左後スカート側)」を画像のような形状で**中表**に折ります。

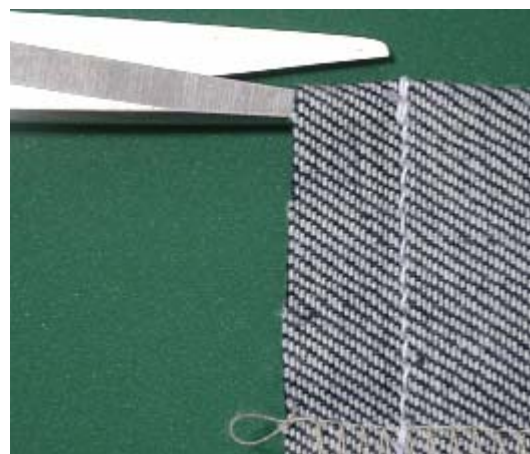
出来上がり線で縫い合わせ、縫い目の手前まで切り込みを入れます。



「反対側(右後スカート)の端」を画像のような形状で中表に折ります。



出来上がり線で縫い合わせます。



縫い目の手前まで切り込みを入れます。

ウエストベルトを表に反します。

ウエストベルトを中央線で折り、アイロンをかけます。

「スカートのウエストベルト付け線の際」に落としミシンをかけます。

※ウエストベルトを縫わないよう注意します。

※ウエストベルトの内側のロックを縫い外さないよう、確認しながら縫い進めます。

ウエストベルトの持ち出し部分に渡しまつりをします。

ウエストベルトの両端にホックを縫い付けます。

-----完成-----

～その他～

スカート部分の落としミシンの代わりに、ウエストベルトと裾ヨークにコバステッチをかける  
とカジュアルな印象になります。